



平成29年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年2月7日
東

上場会社名 株式会社ロックオン 上場取引所
コード番号 3690 URL <http://www.lockon.co.jp>
代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)岩田 進
問合せ先責任者 (役職名)経営企画部長 (氏名)赤澤 洋樹 (TEL)06(4795)7500
四半期報告書提出予定日 平成29年2月14日 配当支払開始予定日 -
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年9月期第1四半期の連結業績(平成28年10月1日～平成28年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年9月期第1四半期	420	23.0	58	40.8	60	43.4	41	51.7
28年9月期第1四半期	342	3.7	41	△29.5	41	△29.3	27	△31.0

(注) 包括利益 29年9月期第1四半期 41百万円(49.5%) 28年9月期第1四半期 27百万円(△30.4%)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
29年9月期第1四半期	6	59	6	58
28年9月期第1四半期	4	36	4	33

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円	百万円	百万円	百万円	%
29年9月期第1四半期	1,383	1,202	1,202	1,193	87.0
28年9月期	1,434	1,193	1,193	1,193	83.2

(参考) 自己資本 29年9月期第1四半期 1,202百万円 28年9月期 1,193百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭
28年9月期	-	0.00	-	5.00	5.00	
29年9月期	-					
29年9月期(予想)		0.00	-	5.00	5.00	

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年9月期の連結業績予想(平成28年10月1日～平成29年9月30日)

現時点では業績に影響を与える未確定な要素が多いため、業績予想を数値で示すことが困難な状況であります。連結業績予想については、合理的に予想可能となった時点で公表いたします。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名)一、除外 一社(社名)一

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

29年9月期1Q	6,311,694株	28年9月期	6,310,374株
29年9月期1Q	45株	28年9月期	一株
29年9月期1Q	6,310,769株	28年9月期1Q	6,292,506株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループが事業を展開している国内のインターネット広告市場につきましては、スマートフォン広告市場の継続的拡大や動画広告市場の急成長に加え、「プログラマティック広告取引」（オーディエンスデータに基づいて自動的に広告枠の買い付けを可能にする取引形態）の浸透が進み、平成28年10月実績で前年同月比119.6%（経済産業省「特定サービス産業動態統計調査（平成28年10月分確報値）」）と引き続き高い成長を示すなど、堅調に推移しております。

一方、当社グループのもう一つの対面市場であるEC市場につきましては、スマートフォンやタブレット端末の普及・進化に伴い、企業のECビジネス展開が加速しており、平成27年国内BtoC-EC市場は、前年比107.6%の13.8兆円まで拡大しています。また、全ての商取引に対する電子商取引の割合であるEC化率は、BtoC-ECで4.8%（経済産業省「平成27年我が国経済社会の情報化・サービス化に係る基盤整備（電子商取引に関する市場調査）報告書」）であり、伸びしろが大いにある分野であります。

このような良好な事業環境の下、当社グループは、企業と顧客とのコミュニケーションを自動化・効率化する「マーケティングロボット事業」を自社事業領域と定め、その拡大に努めてまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は420,926千円（前年同期比23.0%増）、営業利益は58,391千円（前年同期比40.8%増）、経常利益は60,193千円（前年同期比43.4%増）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は41,576千円（前年同期比51.7%増）となりました。

セグメント別の業績は以下のとおりとなりました。

① マーケティングプラットフォーム事業

当事業はマーケティングプラットフォーム「AD EBiS」を提供する事業です。「AD EBiS」は広告効果測定システムを中心とした「測定」機能と、国産リスティング広告運用プラットフォーム「THREe」に代表される蓄積されたマーケティングデータを「活用」する機能の2つで構成され、一気通貫したマーケティング統合環境を提供しています。

当事業においては、マーケティングイベントでのセミナー開催等広告宣伝を積極的に行う一方、「AD EBiS」で蓄積した膨大なアクセスデータと外部データを連携し、デモグラフィック情報（年代・性別・地域）を提供する新サービスを開発、ウェブ上での行動履歴にユーザー属性をつなげて分析を可能にするなど、サービスの付加価値増強に努めてまいりました。

その結果、売上高は295,504千円（前年同期比28.9%増）、営業利益は60,322千円（前年同期比65.3%増）となりました。

② 商流プラットフォーム事業

当事業はEC構築オープンソースからなるフリーミアムモデルのECオープンプラットフォーム「EC-CUBE」と、ECサイト構築の受託開発を行うサービスである「SOLUTION」で構成されます。当事業は「EC-CUBE」の開発や他社サービスとの連携による「EC-CUBE」のプラットフォーム拡充がストック収益となるビジネスモデルです。また、受託開発の「SOLUTION」は顧客ニーズ獲得と最新技術の研究開発の役割も担い、獲得したニーズや技術を「EC-CUBE」や「AD EBiS」に還元する社内循環システムを確立しております。

当事業においては、スマホアプリやリアルPOSレジ、IoT対応なども視野に入れ、より大きな市場に対応した「EC-CUBE 3」のバージョンアップによる付加価値の向上とその普及活動に注力し、プラットフォームの更なる拡充に努めてまいりました。また、「SOLUTION」における研究開発案件にも積極的に取り組んでまいりました。

その結果、売上高は125,422千円（前年同期比11.0%増）となりましたが、研究開発案件のコスト増加により営業損失は1,930千円（前年同期は営業利益4,957千円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比べ50,985千円減少し、1,383,368千円となりました。主な要因は、期末配当金の支払等により現金及び預金が65,115千円、売掛金が60,946千円減少したこと、及びソフトウェアが22,933千円、差入保証金が43,675千円増加したことによります。負債については、前連結会計年度末と比べ60,789千円減少し、180,414千円となりました。主な要因は、買掛金が10,509千円、未払金が9,728千円、及び賞与引当金が13,600千円減少したことによります。純資産については、親会社株主に帰属する四

半期純利益41,576千円の計上、及び期末配当金の支払31,551千円等により、前連結会計年度末と比べて9,804千円増加し1,202,954千円となり、自己資本比率は87.0%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点では業績に影響を与える未確定な要素が多いため、業績予想を数値で示すことが困難な状況であります。連結業績予想については、合理的に予想可能となった時点で公表いたします。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	762,361	697,245
売掛金	325,420	264,473
仕掛品	5	1,512
前払費用	23,253	24,906
繰延税金資産	13,600	8,062
その他	5,271	12,085
貸倒引当金	△770	△150
流動資産合計	1,129,142	1,008,137
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	69,891	69,891
減価償却累計額	△31,404	△38,743
建物及び構築物(純額)	38,487	31,147
工具、器具及び備品	163,813	164,969
減価償却累計額	△126,529	△130,631
工具、器具及び備品(純額)	37,284	34,338
有形固定資産合計	75,771	65,485
無形固定資産		
ソフトウェア	107,224	127,071
ソフトウェア仮勘定	15,203	18,290
その他	46	46
無形固定資産合計	122,474	145,407
投資その他の資産		
投資有価証券	15,772	27,288
繰延税金資産	—	1,623
差入保証金	67,407	111,083
保険積立金	20,873	21,423
その他	3,163	3,172
貸倒引当金	△253	△253
投資その他の資産合計	106,964	164,337
固定資産合計	305,211	375,231
資産合計	1,434,353	1,383,368

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	25,420	14,910
未払金	77,021	67,293
未払法人税等	22,630	16,800
預り金	22,988	26,000
賞与引当金	24,100	10,500
株主優待引当金	1,805	—
資産除去債務	10,400	10,400
その他	31,840	9,810
流動負債合計	216,207	155,714
固定負債		
資産除去債務	24,700	24,700
その他	296	—
固定負債合計	24,996	24,700
負債合計	241,203	180,414
純資産の部		
株主資本		
資本金	276,289	276,482
資本剰余金	266,267	266,460
利益剰余金	650,857	660,881
自己株式	—	△99
株主資本合計	1,193,414	1,203,724
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△264	△770
その他の包括利益累計額合計	△264	△770
純資産合計	1,193,149	1,202,954
負債純資産合計	1,434,353	1,383,368

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年10月1日 至平成27年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年10月1日 至平成28年12月31日)
売上高	342,224	420,926
売上原価	134,583	140,341
売上総利益	207,640	280,584
販売費及び一般管理費	166,179	222,192
営業利益	41,461	58,391
営業外収益		
為替差益	—	1,728
講演料等収入	309	335
持分法による投資利益	205	—
その他	6	70
営業外収益合計	521	2,133
営業外費用		
為替差損	13	—
持分法による投資損失	—	331
営業外費用合計	13	331
経常利益	41,969	60,193
税金等調整前四半期純利益	41,969	60,193
法人税、住民税及び事業税	4,224	15,000
法人税等調整額	10,330	3,617
法人税等合計	14,555	18,617
四半期純利益	27,413	41,576
親会社株主に帰属する四半期純利益	27,413	41,576

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

	(単位：千円)	
	前第1四半期連結累計期間 (自 平成27年10月1日 至 平成27年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成28年10月1日 至 平成28年12月31日)
四半期純利益	27,413	41,576
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	63	△505
その他の包括利益合計	63	△505
四半期包括利益	27,477	41,070
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	27,477	41,070
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第1四半期連結累計期間(自 平成27年10月1日 至 平成27年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益 計算書計上額
	マーケティング プラットフォーム フォーム	商流プラットフォーム フォーム	計		
売上高					
外部顧客への売上高	229,196	113,028	342,224	—	342,224
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	229,196	113,028	342,224	—	342,224
セグメント利益	36,503	4,957	41,461	—	41,461

(注) セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自 平成28年10月1日 至 平成28年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益 計算書計上額
	マーケティング プラットフォーム フォーム	商流プラットフォーム フォーム	計		
売上高					
外部顧客への売上高	295,504	125,422	420,926	—	420,926
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	295,504	125,422	420,926	—	420,926
セグメント利益又は損失(△)	60,322	△1,930	58,391	—	58,391

(注) セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。